

ユーラ・E6 コントラストアロマスペシャル
Jura E6- CAS 取扱いマニュアル

ユーラ E6-CAS ご使用に際して (重要事項)

本マニュアルは大切に保管してください。
 また長くご使用いただくために下記の事をお守りください。

1. 定期点検

メインユニットは約一年でオーバーホールが必要です。年に一度販売代理店で定期点検を行ってください。

2. クラリスフィルター / カルシウム除去

ボイラーや配管のカルシウム詰まりを防ぐため、専用浄水フィルターの使用、または定期的なカルシウム除去作業が必要です。フィルターまたはカルシウム除去剤を販売代理店でご購入いただきマシンの表示に従いお手入れを行ってください。

3. 毎日の洗浄

長くお使いいただくために洗浄タブレット「カフェラ・ウォッシュ」による洗浄を毎日行ってください。
 毎日洗浄を行わなかった場合メインユニットの寿命が半分程度になる場合があります。
 洗浄を行っていない場合の故障は保証外となりますのでご注意ください。洗浄剤は専用のものを販売代理店でご購入ください。

4. 保証書

故障で保証をお受けになる場合保証書を必ずご提示ください。保証書の提示がない場合保証を受けられない場合があります。

5. 修理の場合

故障、定期点検の場合は販売代理店にご連絡ください。



| | |
|------------------------------------|--------------------|
| p.01 : ご使用に際して | p.08 : 設定変更・挽目調整 |
| p.02 : 安全にお使いになるために | p.09 : マシン洗浄 |
| p.03 : 製品保証書 | p.10 : ミルク洗浄 |
| p.04 : 各部名称 | p.11 : フィルター交換 |
| p.05 : セットアップ / 水の硬度設定 | p.12 : CA 除去 |
| フィルター / CA 除去選択 | p.13 : トラブルシューティング |
| p.06 : メニューの抽出 | p.14 : E6-CAS 機能一覧 |
| p.07 : 日常のメンテナンス (良くできる表示と対処方法) | |



安全にお使いになるために

本機を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置及び日常の取り扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。必ずお読みください。

⚠ 警告：死亡や重傷を負う可能性がある行為

⚠ 注意：軽傷や中程度の障害および物的損傷を負う可能性がある行為

機械電源について

⚠ 注意：コンセントについて

●コンセントは、100V（ボルト）で機械一台あたり 15A（アンペア）以上の容量を持ったものを本機専用としてご使用ください。

テーブルタップ等でのタコ足配線は発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意：電源プラグ/コードについて

●機械の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていないと、発煙、発熱など思わぬ事故につながる恐れがあります。

機械の電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。確実に差し込まれていても電源プラグとコンセントの差し込み状態がゆるんでいる場合は販売店にご相談下さい。

●機械の電源プラグやコードが損傷したりすると、発熱、ショート、発火などの事故につながる恐れがあります。

機械の電源コードに重いものを乗せたり、足で蹴るなど衝撃を与えないでください。万一 衝撃を与えて電源プラグ端子を曲げたり、コードを傷つけたときは、販売店に連絡し、修理を依頼してください。

お客様が独自に修理をしないでください。

⚠ 注意：タコ足配線の禁止について

●発熱、発火などの事故につながる恐れがありますので、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを利用したタコ足配線は絶対にしないでください。

⚠ 注意：延長コードについて

●延長コードには流せる電流に限界があり、不適切な延長コードを使用すると発煙、発熱など思わぬ事故となります。

電源の延長コードが必要な場合は、販売店にご相談ください。定格不足の延長電源コードやリール式延長電源コードは絶対に使用しないでください。また、機械の電源コードや接続している延長電源コードは束ねないでください。

⚠ 警告：アース線について

●接続（アース）していないと、機械に漏電があるとき、機械の操作中に感電する危険があります。**アース線は機械に付属品としてついています。**

●アース線を不適切な場所に接続すると、爆発したり、感電したりする危険があります。

アース線は次の場所に接続しないでください。

①ガス管②避雷針③電話専用アース線④樹脂製の水道管および水道局がアースの対象物と許可していない水道管や蛇口

アース線の長さが足りないなど、お困りのことや不明な点は、販売店にご相談ください

日常の取り扱いの注意

⚠ 注意：コーヒー抽出時の事故防止

●スチームノズルやコーヒー抽出部は高温になっています。火傷の恐れがありますので、蒸気やコーヒーまたは金属部分に直接触れないようご注意ください。

⚠ 警告：トラブルがあったときの処置

●機械内部には高温・高電圧の部分があり、触れると**火傷や感電により死に至る**恐れがあります。

●機械の修理が必要なときは必ず販売店に連絡してください。お客様ご自身の修理は絶対に行わないでください。

●機械から異常な音、臭い、煙などが発生したら、直ちに使用を中止して、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

●ブレーカーやヒューズが切れるようなことがありましたら、使用を中止して販売店にご連絡ください。ヒューズ取付の際、定格以外のヒューズや針金などは絶対に使用しないでください。

⚠ 注意：火災などの事故防止

●火災などの原因となることがありますので、機械の近くではシンナーやアルコールなどの揮発性可燃物の使用は避けてください。

⚠ 注意：機械改造の禁止

●機械の改造や部品の取り外しは思わぬ事故を引き起こします。絶対に行わないで下さい。

⚠ 注意：漏電などの事故防止

●機械に水やその他の液体をこぼさないでください。

⚠ 注意：機械故障の防止

●機械の内部にクリップなどの金属片を落とさないでください。

●コーヒー抽出以外の目的に使用しないでください。

⚠ 注意：日常の機械点検のお勧め

●定期的に下記の点検を必ず行ってください。

- ①電源コードやプラグが異常に発熱していませんか。
- ②電源コード、プラグのゆるみ、およびコードの切り傷や擦り傷がありませんか。
- ③アース線が正しく接続されていますか。

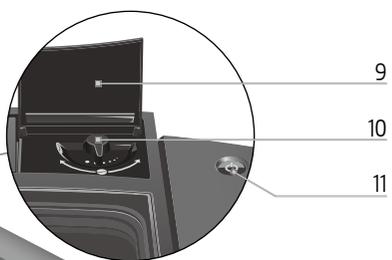
⚠ 注意：通電について

●夜間など長時間で使用にならないときは必ず電源を切ってください。

⚠ 注意：設置環境について

●周辺温度が 30℃以上になる場所での使用はおやめ下さい。

各部名称



- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1: 洗浄タブレット投入口カバー | 9: 挽目ダイヤルカバー |
| 2: 洗浄タブレット投入口 | 10: 挽目ダイヤル (6段階) |
| 3: コーヒー豆コンテナ | 11: 電源 ON/OFF ボタン |
| 4: 水タンクフタ | 12: ファインフォームフローサー |
| 5: 水タンク | 13: コーヒー抽出口 (高さ調節可能) |
| 6: 電源ケーブルのプラグイン (マシン背面) | 14: カップグリル |
| 7: カス容器 | |
| 8: 排水トレイ | |

【ディスプレイ周辺】



- | | |
|--|-----------------|
| 1: ディスプレイ | 3: 給湯・スチーム用スイッチ |
| 2: マルチファンクションボタン (ディスプレイに何が表示されているかに依存) | |

【抽出メニュー】

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|----------------------|---|------|---|-------|---|-----|---|--|---|--|---|
| ↑ | <table border="1"> <tr> <td>☕</td> <td>エスプレッソ</td> <td>☕</td> <td>コーヒー</td> </tr> <tr> <td>☕</td> <td>カフェラテ</td> <td>☕</td> <td>ミルク</td> </tr> <tr> <td>P</td> <td></td> <td>☕</td> <td></td> </tr> </table> | ☕ | エスプレッソ | ☕ | コーヒー | ☕ | カフェラテ | ☕ | ミルク | P | | ☕ | | ↑ |
| ☕ | エスプレッソ | ☕ | コーヒー | | | | | | | | | | | |
| ☕ | カフェラテ | ☕ | ミルク | | | | | | | | | | | |
| P | | ☕ | | | | | | | | | | | | |
| ↑ | プログラムボタン (各種お手入れ、設定画面へ) | ↑ | リンスボタン (すすぎメニューへ) | | | | | | | | | | | |

- エスプレッソ
- エスプレッソ 2 杯取 (ボタン 2 度押し)
- カフェラテ
- コーヒー
- コーヒー 2 杯取 (ボタン 2 度押し)
- ミルクフォーム
- 熱湯 (給湯・スチーム用スイッチ使用)

【同梱品】

- | | |
|-------------------|----------------|
| 給湯ノズル | フローサー抽出口先端部スペア |
| クラリススマート | 硬度試験紙 |
| クラリススマート用エクステンション | 変換プラグ |

▶セットアップ/水の硬度設定・フィルター/CA 除去選択

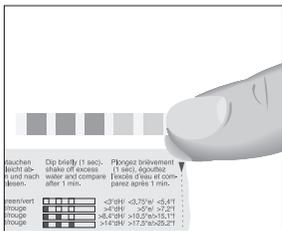
前提条件

- ※20A以上のマシン専用回路から本機専用のコンセントに接続してください。延長タップ等は使用できません。
- ※電源ケーブルに損傷または欠陥がある場合は絶対に使用せず、販売店へご連絡下さい。致命的な危険のある感電の可能性があります。
- ※耐水性があり水平・平滑・頑丈な場所に設置して下さい。
- ※水や蒸気がかかる場所、高温になる場所を避け通気を確保して下さい。(変形や故障・オーバーヒートの恐れがあります)
- ※布や食器で換気口を覆わないで下さい。

水の硬度を調べる

はじめに、本機で実際にご使用される水の硬度を調べておきます。

1. 同梱の硬度試験紙 AquadurR を水道からの流水に約1秒さらした後、水を振り払い、約1分間待ちます。
2. AquadurR 試験紙のグリーン色の印刷色が硬度によってベージュに変色して行きます。下の表に照らし合わせて、お使いの水道水の硬度をご確認ください。
3. 出荷時は日本の平均 dH に設定してあります。異なる結果が出た場合はのちほど「P.14 (4/4) 水の硬度」を参照し、実際の値を設定しなおしてください。
※マシンの耐久性を維持するための大事な設定です。



| 【硬度目安】 | 【結果】 |
|-----------|------|
| 1-5° dH | |
| 6-10° dH | |
| 11-15° dH | |
| 16-20° dH | |
| 25-30° dH | |

①豆ケースに豆を入れる

アロマ保存カバーを取り外します。
豆容器内部の汚れや異物を確認しあれば取り除きます。
コーヒー豆で豆容器を満たしアロマ保存カバーを閉じます。

ご注意

- ※冷蔵庫・冷凍庫で保管している豆は常温に戻してご使用ください。
- ※添加剤(例えば糖やフレーバー)で処理したコーヒー豆、挽き豆または凍結乾燥コーヒーは、グラインダーを損傷します。豆コンテナには無添加の正しくローストされたコーヒー豆だけを使用します。
- ※豆ケースに誤って水を入れないよう十分ご注意ください。内部のグラインダーを損傷させる恐れがあります。異物や水はねの混入を防ぐため豆の充填時以外は必ずフタをして下さい。

②水タンクに水を入れる

水タンクカバーを開きます。
水タンクを取り外して、水ですすいでください。
新鮮な水をタンクに満たし、再度本体にセットし、水タンクカバーを閉じます。

ご注意

- ※発泡水やミネラルウォーター、お湯などはマシン本体に損傷を与えたり設定した味を保てなくなります。必ず毎日汲み直した新鮮な水をご使用ください。
- ※水タンクはセットする際に、タンク下にコーヒー豆などの異物が落ちていないか確認します。またセットする際は本体にまっすぐ差し込みます。

③電源を入れる

抽出口の下に排水受を置きます。
マシン上部の電源オン/オフボタンを押します。

スイッチ 開く

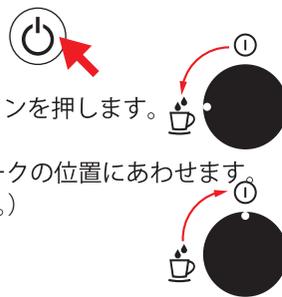
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませす。(抽出口から少量のお湯が出ます。)

「スイッチ 閉じる」

スイッチを元の位置へ戻します。

「加熱しています」

「マシンをすすぎます」(抽出口から少量のお湯が出ます。)
メニュー画面が現れ抽出可能になります。



④フィルター/CA 除去選択

本機専用浄軟水器「クラリススマートフィルター」を使用するかどうかを選択します。

【フィルター選択→手順⑤へ】:

- Jura コーヒーマシン専用浄軟水フィルター。
 - 時間のかかる CA 除去作業が不要になります。
 - 交換表示が出たら、または最長2ヶ月毎に要交換。
- ### 【CA 除去選択→そのままお使いいただけます。】
- ランニングコストを抑えます。
 - 表示が出たら CA 除去作業(約40分)が必要です。

※はじめに調べた水の硬度が1-5dHと異なる場合はここで「P.14 (4/4) 水の硬度」を参照し実際の値を設定しなおします。

⑤フィルターのセット

1. 水タンクを本体から外し空にします。
2. クラリススマートにエクステンションをカチッと音がするまで押し込みます。
3. 水タンク底の丸い部分をめがけてフィルターをまっすぐ差し込み、エクステンションのつまみを時計周りに回してタンク上部の溝に固定します。
3. フローサーの下に排水受けを用意します。
4. 水タンクに水を満たし本体に戻します。
5. 「スイッチ 開く」

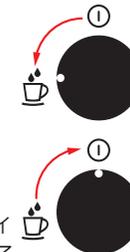
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませす。フィルターのすすぎが始まります。

6. すすぎが終了し

「スイッチ 閉じる」と表示されたらスイッチを元の位置へ戻します。

「フィルターのすすぎ完了」

7. メニュー画面に戻り、画面中央下部にフィルターのマークが表示されればセット完了です。



▶メニューの抽出 ※陶器のカップをご使用の場合は必ずカップをよく温めてから抽出をしてください

前提条件

メニュー画面が表示されている。P5 を参照し、水、豆、の用意ができています。使用するカップ、グラスにあわせて抽出口の高さを調整しておきます。

◆コーヒーの抽出

抽出したいコーヒーメニューのボタンを押して下さい。

例：エスプレッソの抽出



抽出中左下に表示される「キャンセル」ボタンを押すと抽出を途中でとめることができます。(全メニュー共通)

※ショートコーヒーの温度低下を防ぐため、50cc 以下のメニューは抽出前に「コーヒーすすぎ」を2回行います。

【☘ ボタン→コーヒーすすぎ×2回】

(前回の抽出から5分以内、あるいは続けて抽出されている場合は不要です。)

※一時的にコーヒーの濃度や抽出量を変えることができます。挽豆中に◀▶が表示されている位置のボタンを操作すればコーヒーの濃さが、抽出中に同ボタンを操作すれば抽出量を変更できます。現在抽出中の1杯に限り有効、元々の設定は変更されません。

◆2杯取コーヒーの抽出

2杯取できるメニュー：エスプレッソ、コーヒー

メニューボタンを続けて2回押して下さい。(1秒以内)

例：コーヒー2杯取



※1杯取と2杯取の設定は連動しています。1杯分×2倍量のお湯を通しますがユニットに入る粉量の上限があるため、1杯取と2杯取の味(濃さ)を揃えたい場合はエスプレッソ、コーヒー共に豆マーク3個以下で設定してください。

ご注意

最後の抽出から時間が経過すると自動的に省エネモードに入り、次の抽出時にメニューボタンを押すと「加熱しています」となることがありますがそのままお待ち下さい。加熱終了後メニューを抽出します。

◆カフェラテ・ミルクフォームの抽出

フローサーの保護キャップを取り外してミルクホースを接続し、もう一方の先端をミルクに差し入れます。

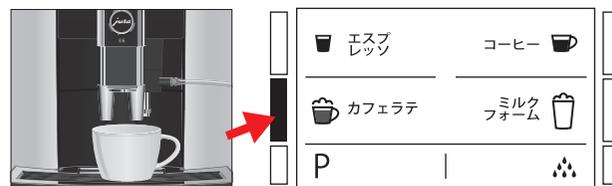
ご注意

成分無調整の牛乳を使用してください。ロングライフ・ローファットは目詰まりの原因となります。



例：カフェラテの抽出

コーヒー抽出部、ミルク抽出部、全てが入る径のカップをご使用ください



「スイッチ開く」と出たら白いマークをカップの位置へ。ミルクが抽出されます。
「スイッチ閉じる」と出たら元の位置へ。続けてコーヒーが抽出されます。

※ミルクフォーム抽出時も同じようにスイッチ操作の指示に従ってください。

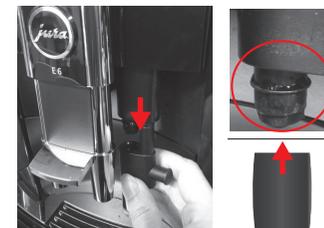
※ミルクメニュー抽出から10分経過後に「ミルクすすぎ」の表示が出て☘マークが赤くなります。フローサー下部に排水受けを置き、☘ボタンを押してミルクすすぎを選択してください。

◆熱湯の抽出 ※画面にメニュー表示はありません

ファインフォームフローサーを給湯ノズルに付け替えます。

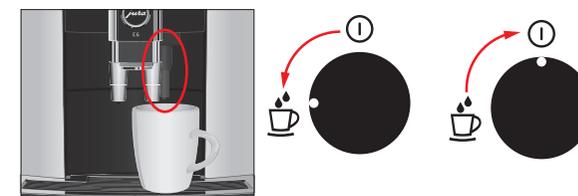
抽出口を下まで下げフローサーのゴム部分を下に引き抜きます。(やや手前に折るようにすると抜けやすい)

※ヤケド防止のため布巾等で手を保護してください。



本体側に残ったミルク分を清潔なキッチンペーパー等できれいに拭き取ってから給湯ノズルを取り付けます。

給湯ノズルの下にカップを置き、抽出口の高さを合わせ、スイッチを開きます。設定された量のお湯が抽出されます。



抽出後「スイッチ閉じる」と表示されますのでスイッチを元の位置に戻します。

※給湯中に◀▶が表示されている位置のボタンを操作すれば抽出量を変更できます。現在抽出中の1杯に限り有効、元々の設定は変更されません。

※熱湯は「キャンセル」ボタンが表示されません。途中で抽出をやめたい場合はスイッチを元の位置に戻して下さい。

各種メニューの量設定・味の変更は P.08 設定変更および P.14 (3/4) 「エキスパートモード」の項を参照ください

▶ 日常のメンテナンス オペレーション中に良くできる表示とその対処方法、ご注意ください

フィルターマークが赤く点灯
→P11 フィルター交換

豆容器に豆を入れてください

容器の豆が不足しています。
豆容器のカバーを開けコーヒー豆を補充します(水気厳禁)
※豆を入れても次にグラインディングするまでこの表示は消えません。
※メニュー抽出中にこの表示が出た場合、豆の補充後再度メニューボタンを押してください。

水タンクに水を入れてください

フタを開けて水タンクを取り外し、よくすすいでから新鮮な水で満たし本体に戻してください。
※水タンクがまっすぐセットされているか、タンクと本体の間に豆などの異物が挟まっていないか確認してください。
※水タンクは終業時によく洗い毎日新鮮な水に取り換えます。

カス容器を空にしてください

排水トレイをひきだし、カス容器にたまったコーヒーカスを捨ててください。
※カス捨ては電源が ON の状態で行います。
※トレイ及びカス容器を本体に戻すまで 10 秒以上間をあけてください。
電源 OFF 時のカス捨てや、トレイを戻すのが早すぎるとカウンターがリセットされません。

ミルクシステムすすぎ

ミルクを使用したメニューを抽出後 10 分経過すると表示されます。
リンスボタン  を押し「スイッチ開く」と表示されたらフローサーの下に排水受を置きスイッチ  を  のマークへ、「スイッチ閉じる」と表示されたらスイッチを  のマークへ戻し、元の画面に戻れば終了です。
※やけどにご注意ください

マシンを洗浄してください ※1日1回行うので通常は表示されません。
→P09 マシン洗浄

CA 除去をしてください
→P12 CA 除去

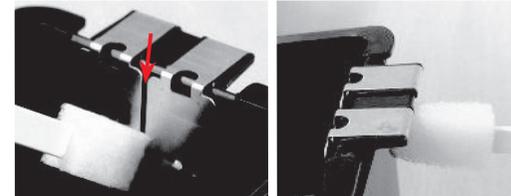
排水トレイを空にしてください

排水トレイを手前に引きだし、中にたまった排水を捨てます。
※排水トレイの一番奥には金属製の接点電極があります。排水を捨てる際はこの電極に水分がかからないようにします。また、日頃よりこの電極部分を中性洗剤でよく洗いましょう。

排水トレイを挿入してください

排水トレイを本体に戻します。
本体にセットしているのにこの表示が出る場合はトレイ奥金属製電極裏側の汚れによる検知不良です。
下図を参照して洗浄し、水気をよく拭き取ってから本体に戻します。

接点電極を中性洗剤を使用して洗います。特に金属と金属のすき間を重点的に、ブラシのようなもので洗います。(裏側も)



乾いた布で水気を完全に拭きとり(裏側も) 本体に戻して下さい



適温に下がるまでお待ちください
※スイッチを開いてお湯を抽出してください(約 50ml)
(この時は給湯ノズルへの交換は不要です。)

排水トレイは前端を軽く上へ持ち上げて手前に引くと簡単に外れます。

◆メニュー設定変更

お好みに合わせて各ボタンのメニュー設定を変更することができます。変更方法には2種類あります。

【エキスパートモード】

P ボタン→3/4→エキスパートモード→
設定変更したいメニューボタンを押す

各メニューの抽出量、温度、ミルクの量などを数値で指定していきます。設定可能な範囲は **P14 (3/4) エキスパートモード**の項をご参照ください。

※実際に抽出される量は設定値よりもやや少なくなります。

【抽出量の手動調節】

お使いになっているカップのサイズにあわせて抽出量を変更することができます

カップを置きメニューボタンを2秒以上長押し→
抽出開始：

「ご希望の量になりましたらボタンを押してください」
希望の量になったところで再度ボタンを押して抽出量決定。

※設定された内容を後からエキスパートモードで確認・変更することができます。P14 (3/4) エキスパートモードの項をご参照ください。

※設定される方の見た目判断となるため、チェーン店様等複数店舗で確実に設定を揃えたい場合はエキスパートモードをお勧めします。

重要

メニューボタンを約2秒長押しすると設定変更可能な状態になります。
**セルフサービススタイル等でお客様が誤って長押し→設定変更してしまわないよう
充分にご注意ください。**

◆挽目 (グラインダー) の調整

お使いの豆やお好みにあわせて挽目を調整することができます。挽目ダイヤルは右に回すと挽目が細かく、左に回すと粗く調整されます。コーヒー豆の種類や焙煎度によって最適な挽目は異なります。コーヒーが抽出口より途切れなく出る状態が焙煎と挽目があっているひとつの目安となります。

ご注意

※調整は必ずグラインダーが回転している間に行います。回転していない状態で調整を行うと部品が破損する恐れがあります。
※一度設定した挽目は次に調整をするまで固定です。メニューによって挽目を変えるという設定はできませんので、一番よくお飲みになるメニューで調整することをお勧めします。

①マシンに水と豆がセットされている事を確認し、抽出口の下にカップをセットします。

②挽目ダイヤルカバーを開けます。

③メニューボタンを押して挽目ダイヤルを回します。設定量のコーヒーが抽出されます。これまでの挽きが残っている可能性があるため1杯目は捨て、2杯目に試飲し、味、クレマの量、色目などを確認します。ご希望の味になるまでこの作業を繰り返します。



必要なもの

洗浄タブレット
(カフェラウオッシュ)

×1錠



※水タンクに半分以上の水

汚れによるトラブル・故障を防ぐ為、終業後に毎日必ずマシン洗浄を行ってください。

「マシンを洗浄してください」と表示が出た場合も同じ手順で洗浄を行ってください

※マシン洗浄はおよそ 20 分かかります。

※マシン洗浄は中断しないでください。

洗剤分が残ったり汚れが完全に落ちない恐れがあります。

※CA 除去の表示が出ているとマシン洗浄ができません。

先に CA 除去作業 (P12) を終えてからマシン洗浄を行ってください。

※洗浄タブレット・カフェラウオッシュはマシン販売店からご購入ください。

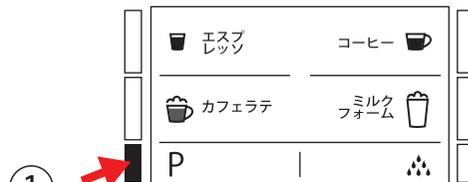
ご注意

※販売店指定のカフェラウオッシュ (安全データシートあり) をご使用ください。指定以外のものを使用すると保証が受けられません。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。

手順



①



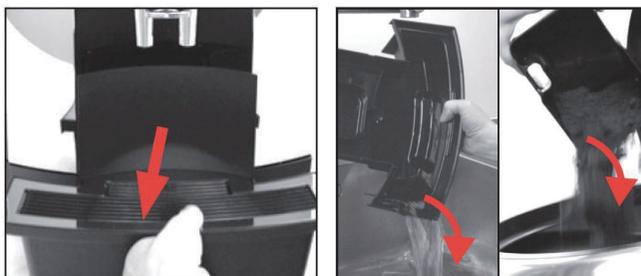
②

③ 画面に従い「スタート」、「進む」を選択

スタート

④ 「カス容器を空にしてください」

排水トレイとカス容器を空にして本体に戻します。



⑤



進む

⑥ 「洗浄剤を入れてください」

洗浄タブレットを投入しフタを閉じます。



進む

⑦ 「マシン洗浄中」 (約 10 分)

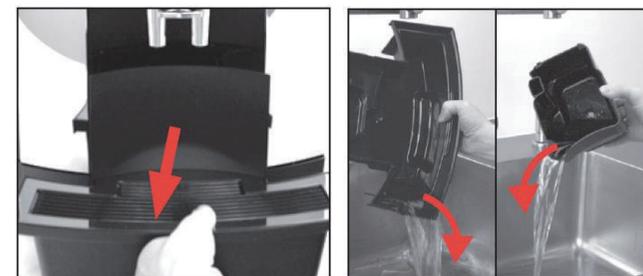
抽出口から洗浄のお湯が排出されます。

※ヤケドにご注意ください

⑧ 「カス容器を空にしてください」

排水トレイとカス容器にたまった排水を捨て、中性洗剤できれいに洗い、水分を拭き取り本体に戻します。

※ヤケドにご注意ください



⑨ 「クリーニングが終了しました」

【ミルクメニュー不使用の場合】

電源を切り水タンクをよく洗って水分を拭き取り、本体に戻して終了です。

【ミルクメニュー使用の場合】

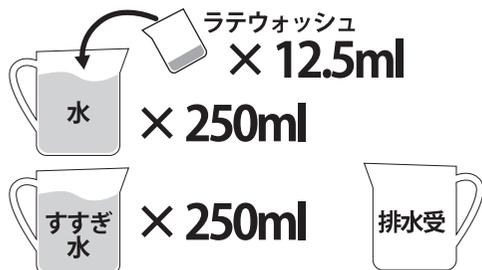
続けて次頁のミルク洗浄を行います。

▶ ミルクシステムクリーニング(ミルク洗浄)

毎日必須

約2分

必要なもの



ミルクメニューを抽出した場合、
食品衛生の見地から、ミルクシステムのクリーニング(ミルク洗浄)を必ず毎日行なってください。
(洗浄を促すサインは出ません)

※ミルクシステムクリーニングはおよそ2分かかります。
※ミルクシステムクリーニングは中断しないでください。
※専用洗剤はマシン販売店からご購入ください。

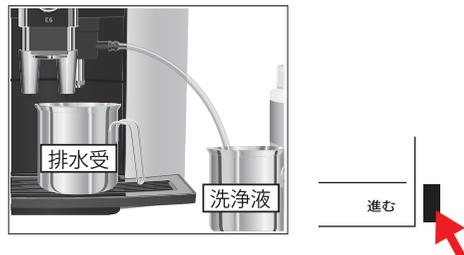
ご注意

※販売店指定のラテ・ウォッシュ(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のものを使用すると洗剤成分がすすぎきれない可能性やマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。
※いかなる部品も食器洗浄機での洗浄はしないでください。ゆがみや破損の原因となります。
※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

手順



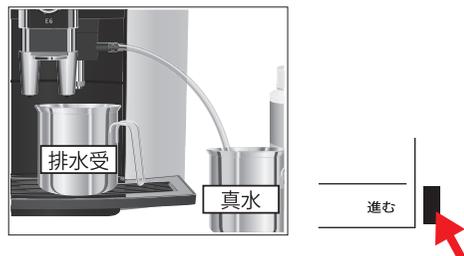
- ③ 画面に従い「スタート」、「進む」を選択
- ④ 「ミルク用洗剤」
容器に水 250ml を注ぎ、ラテ・ウォッシュを 12.5ml 加え、よく混ぜて洗浄液を作ります。洗浄液にミルクチューブをさし、抽出口の下には排水受を置きます。



- ⑤ 「スイッチ開く」
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませう。
「ミルク洗浄中」
ミルクチューブから洗浄液を吸い上げて抽出口を通り、排水が排出されます。
※ヤケドにご注意ください



- ⑥ 「スイッチ閉じる」
スイッチを元の位置へ戻します。
- ⑦ 「ミルクすすぎ用の水」
洗浄液を入れていた容器をよくすすいできれいな水を満たし、ミルクチューブを挿します。空にした排水受けを再度セットします。



- ⑧ 「スイッチ開く」
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませう。「ミルクシステムをすすぎませう」
すすぎの水が排出されます。
※ヤケドにご注意ください

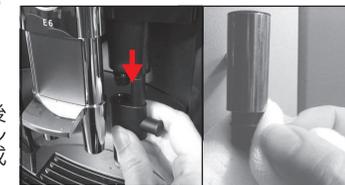


- ⑨ 「スイッチ閉じる」
スイッチを元の位置へ戻します。「ミルクシステムの洗浄終了」



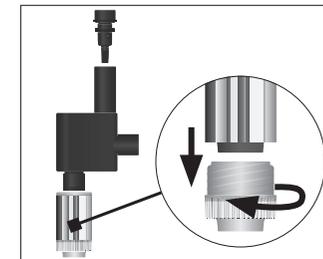
毎日のフローサー分解洗浄

質のよいミルクフォームのために毎日分解洗浄を行います。フローサーを本体から取り外し下図のように分解します。
(※使用直後は熱くなっているので布巾等で手を保護するか十分に冷めてから行って下さい)

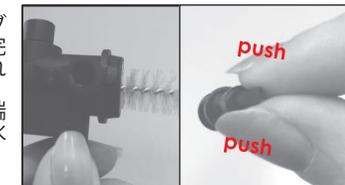


フローサー取り外し後本体側スチームノズル先端に残ったミルク成分を拭き取ります。

右図のように各パーツに分解します。



中性洗剤を使用し、ブラシ等でミルク粕を完全に取り除いた後きれいにすすいで下さい。エアサクシジョンの先端はもみほぐして洗い水分を拭き取ります。



各パーツを元通りに組み立て、本体に取り付けます。
※組み立てを間違えるとミルクがでませうのでご注意下さい。

**必要なもの**クラリススマート
浄水フィルター**× 1 本**

クラリスフィルターは、水道水から不純物やカルキ分を取り除きコーヒーに最適な水を作り出すために開発された Jura コーヒーマシン専用浄水フィルターです。

- ※フィルター交換はおよそ 2 分かかります。
- ※フィルター交換は中断しないでください。
- ※フィルターはマシン販売店からご購入ください。

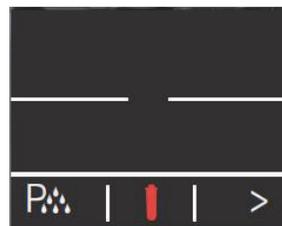
販売店指定の浄水フィルターをご使用ください。指定以外のフィルターはご使用になれません。

フィルター交換の表示 (マークが赤くなる) が出ていてもメニューの抽出はできますが、浄水能力のない状態での使用はマシン内部部品を傷めますのでなるべく早く交換をして下さい。

※交換のサインが出ていなくても 60 日が経過したら交換をして下さい

手順

ディスプレイの**フィルターマークが赤く点灯**している
または**フィルターをセットしてから 60 日が経過**している。



- ① フローサーの下に排水受を用意します。



- ② 水タンクを取り外して中の水を捨て、フィルターエクステンションのつまみを反時計周りに回転して引きあげ、フィルターをとり外します。

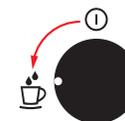


- ③ 新しいフィルターにエクステンションを取り付けます。フィルターを水タンクに挿し込みエクステンションを時計周りに回してタンク上部の溝に固定します。



- ④ 水タンクに水を満たして本体に戻すとマシンが自動的に新フィルターを検出します。

「スイッチ 開く」
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませす。フィルターのすすぎが始まります。



「スイッチ 閉じる」
スイッチを元の位置へ戻します。
「フィルターのすすぎ完了」



メニュー画面に戻り、画面中央下部にフィルターのマークが表示されれば交換完了です。

ご注意

フィルター交換の表示が出てから、交換作業をせずにご使用用水量が 10ℓ を超えると自動的に CA 除去の設定に変わります。

CA 除去設定でのご使用を続け、CA 除去サインが出た場合は CA 除去作業を行わないとフィルター設定に戻すことができません。

フィルター交換、CA 除去いずれの場合もサインがでたら早めに作業をおこなってください。



必要なもの

CA 除去剤



× 3 錠



(正確に計る)

× 500ml



× 500ml



排水受

ご使用する水に含まれるカルシウム成分がマシン内部に徐々に蓄積されて固着してゆきます。最初に設定した水の硬度によりマシンは自動的に CA(カルシウム)除去洗浄を促します。

※CA 除去はおよそ 40 分かかります。

※CA 除去は中断しないでください。中断するとマシンの故障や損傷の恐れがあります。

※専用除去剤はマシン販売店からご購入ください。

ご注意

※販売店指定のカルシウム除去剤(安全データシートあり)をご使用ください。指定以外のカルシウム除去剤を使用した場合、残留物が飲料に混入する恐れやマシンが破損する恐れがあり、保証を受けられません。

※カルシウム除去剤の投入後は必ず最後まで実行して下さい。

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、安全のためゴム手袋や保護メガネの着用をおすすめします。

※カルシウム除去剤は酸性です。アルミや大理石に付着した場合、損傷を与える恐れがあります。付着してしまった場合は直ちに洗い流してください。

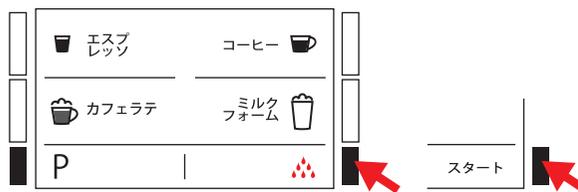
警告

カルシウム除去剤は、皮膚や目に接触した場合、炎症を引き起こす可能性があります。皮膚や眼との接触を避け、万一目や皮膚に付着した場合はすばやくきれいな水で除去剤を洗い流してください。目に入った場合は、医師の診断を受けてください。

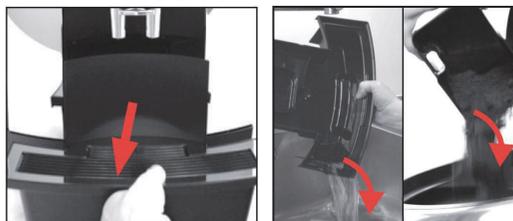
手順

「CA 除去をして下さい」あるいは「今すぐ要 CA 除去」の表示が出て が赤く表示されている

① ボタンを押しスタートボタンを押します。



② 「ドリフトレイを空にしてください」
ドリフトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。



③ 水タンクをマシンから外し、正確に計った水 500ml とカルシウム除去剤を 3 個入れ、十分に溶かします。

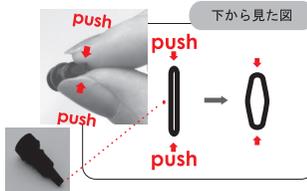
④ 除去剤が溶けたら水タンクをマシンにセットします。フローサーの下に排水受を用意します。



- ⑤ 「スイッチ 開く」
スイッチの白い印をカップのマークの位置にあわせませう。
「マシン CA 除去中」
排水が断続的に排出されます。
- ⑥ 「スイッチ 閉じる」
スイッチを元の位置へ戻します。
- ⑦ 「ドリフトレイを空にしてください」
ドリフトレイとコーヒーカス容器を空にしてマシンに戻します。
- ⑧ ここからすすぎに入ります。
「水タンクに水を入れてください」
水タンクを取り外し、除去剤成分が残らないようきれいにすすいでください。新鮮な冷たい水で水タンクを満たし、再度マシンにセット、抽出口とフローサーの下には排水受を用意します。
- ⑨ 「スイッチ 開く」
スイッチの白い印をカップのマークの位置へ。
「マシン CA 除去中」 排水が断続的に排出されます。
「スイッチ 閉じる」 スwitchを元の位置へ戻します。
「マシン CA 除去中」 排水が断続的に排出されます。
- ⑩ 「ドリフトレイを空にしてください」
ドリフトレイとコーヒーカス容器を空にして中性洗剤できれいに洗い水分を拭き取り本体に戻します。
- ⑪ 「CA 除去が終了しました」

※停電などで CA 除去プログラムが予期せず停止した場合はすぐにきれいな水で水タンクをすすぎ、「コーヒーすすぎ」「ミルクすすぎ」を数回繰り返して除去剤成分が内部に残らないようにします。時間ができ次第再度 CA 除去プログラムを実行して下さい。

▶トラブルシューティング

| トラブル | 原因及び結果 | 解決方法 |
|---|---|---|
| 電源が入らない / ディスプレイが表示されない 使用中に電源が落ちてしまう。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグが抜けている ◎一定時間操作がなかったためオフタイマーが働いた ◎電気容量が不足している ◎内部のヒューズ切れ | <ul style="list-style-type: none"> ◎電源プラグをご確認ください。 ◎→P14 (4/4) オフタイマー 参照 ◎同じ電源を使用している機器のプラグを外してください。電気工事店にご相談下さい。 ◎直ちに使用を中止してください。 |
| コーヒーの出が悪い ポタポタとしか出てこない | <ul style="list-style-type: none"> ◎豆の挽きが細かすぎる ◎抽出ユニット内フィルターの目詰まり | <ul style="list-style-type: none"> ◎豆の挽調整を粗くする→P08 挽目調整 参照 ◎☼ ボタンからコーヒーすすぎを 2~3 回おこなって下さい。 |
| (設定を変えていないのに) コーヒーが薄くなった | ◎豆の油分過多によるグラインダー内部粉詰まり | ◎電源を切り、豆コンテナ内を乾いた清潔な布などで拭きとる。(水分厳禁) 豆の挽きを一番粗くして数回挽く 上記で解決しない場合はお預かり修理となります。販売代理店へご連絡下さい。 |
| コーヒーを挽くときに異音がる グラインダーが空回りして豆を挽かない | <ul style="list-style-type: none"> ◎豆コンテナに異物が混入した ◎豆コンテナ内にコーヒーの微粉がたまっている。 ◎豆コンテナに誤って水を入れてしまった。 | <ul style="list-style-type: none"> ◎電源を切り豆コンテナ内に異物があれば取り除きます。 ◎洗浄タブレット投入口を開け掃除機でグラインダー出口の粉を吸いとります。 ◎お預かり修理となります。販売代理店へご連絡下さい。 |
| 左右の抽出量が均等でない 抽出口の片側だけ出が悪い | <ul style="list-style-type: none"> ◎マシンの傾き ◎抽出口内部の汚れ | <ul style="list-style-type: none"> ◎設置台の水平をとって下さい。 ◎詰まっている側の抽出口を針金や伸ばしたゼムクリップのような細いもので下からやさしくつついてみて下さい。何度か繰り返した後、P09 マシン洗浄を行って下さい。それでも解消しない場合、内部で汚れが固着している可能性がありお預かり修理となります。 |
| コーヒーがぬるい | <ul style="list-style-type: none"> ◎カップを温めていない ◎前回の抽出から時間が経っている | <ul style="list-style-type: none"> ◎陶器のカップはコーヒーの熱を奪います。カップは必ず 60~70℃に温めてからお使い下さい。 ◎前回の抽出から 5 分以上が経つとマシン内部が冷えるため、容量の少ないメニューでは温度に影響が出ます。50cc 以下のメニューを抽出する場合は直前に ☼ ボタンからコーヒーすすぎを 2 回行って下さい。 |
| ミルクフォームがぬるい ミルクフォームが泡立たない ミルクを吸わない ミルクフォームが出てこない | <ul style="list-style-type: none"> ◎エアアクションの汚れ・目詰まり ◎フローサーの汚れ ◎フローサーの組み立て不良  | <ul style="list-style-type: none"> ◎右図のようにエアアクションを両端から押し、口が貼りついていないか確認して下さい。汚れている場合は洗浄し、それでも改善しない場合はスピアをご注文下さい。 ◎P10 を参照し、ミルク洗浄を行ってください。ミルクのかたまりが詰まっている場合、応急措置として左図のように針金やクリップ等の細いものでスチームの出る穴をつきます。時間ができ次第分解洗浄をして下さい。 ◎フローサーの各部品がしっかりとハマっているか確認下さい。(P10 分解洗浄参照)  |
| カス容器が入らない 排水トレイが奥まで入らない | ◎ユニットの上下動中にトレイ、カス容器を抜いてしまい内部部品とトレイがあたってしまう。 | ◎カス容器だけを抜き、その他排水トレイ類を元の位置にセットし電源を OFF にします。再度電源を ON にし、マシンが立ち上がったからトレイを抜きカス容器をセットして戻します。 |
| ERROR 2 ERROR 5 | ◎長時間寒い場所に放置されると安全上再加熱されなくなります。 | ◎マシンが室温になるまでお待ち下さい。 |
| ERROR 8 | ◎ユニット位置不良 | ◎至急販売代理店にご連絡ください。 (電源を落としてプラグを抜き、数分後再び電源を入れるとしばらく使用できる場合があります。) |
| | | |

E6

| 設定画面へ | 画面 | 設定項目 | 選択項目 | 内容/設定範囲 | 備考 | 進行 | 通常画面へ |
|-------------------------|--------|---|--|---|---|-------------------------|-------|
| P ボ タ ン | (1/4) | ト マシン洗淨 | | スタートボタンで洗淨実行 | 業務にご使用の場合は毎日必ず実行してください | トスタート ↑ | ↑ |
| | | ト ミルクシステムクリーニング | | スタートボタンで ミルクシステムクリーニング実行 | 電源OFF時に表示されますので毎日必ず実行してください。 (ミルク関連のボタンを使用していない場合は表示されません。) | トスタート ↑ | |
| | | ト CA除去 | | スタートボタンでCA除去実行 | | トスタート ↑ | |
| | | ト フィルター | | 設定した水の硬度に従い 交換時期を表示します | 交換時期に達するとフィルターマークが赤に変わります。 マークが赤くなくても取付から60日が経過した場合は交換をして下さい。 交換時、新品でないフィルターをセットしても反応しません。 | | |
| | (2/4) | ト コーヒーすすぎ | | すぐにすすぎが始まります | 任意で行いたい時は通常画面右下のリンスマーク横のボタンを押すと この画面にすぐ入れます。抽出口の下に排水受を用意してスタート。 電源OFF時にも表示されますので実行してください | | |
| | | ト ミルクすすぎ | | すぐにすすぎが始まります | 任意で行いたい時は通常画面右下のリンスマーク横のボタンを押すと この画面にすぐ入れます。抽出口の下に排水受を用意してスタート。 電源OFF時にも表示されますので実行してください。(ミルク関連のボタンを使用していない場合は表示されません。) | | |
| | | ト 情報 | | お薦めする日々のお手入れについて表示 | | | |
| | (3/4) | ト エキスパートモード (=メニュー設定変更) 設定したいメニューのボタンを 押すと変更できる項目が表示 されます。 (メニューによって表示される 項目・範囲が異なります) 進むボタンで次画面へ進みま す。 | ト 容量 (コーヒー) : | エスプレッソ : 15~80ml その他コーヒー : 25~240ml | 5mlきざみ ※抽出中、容量表示中に◀▶ボタンを操作すれば容量変更可能。 現在抽出中の1杯のみ有効、元々の設定量は変更されません。 | ±で値を 表示後 ト保存 ↑ | |
| | | | ト 容量 (熱湯) : | 25~450ml | 5mlきざみ | | |
| | | | ト ミルク量 : | 3-120秒 | 1秒きざみ | | |
| | | | ト ポーズ : | 0-60秒 | ミルクのフォーム層/液層を際立たせるための一時停止時間 | | |
| | | | ト コーヒーの濃度 : | 8段階 | メニュー毎にコーヒーの濃さを選択できます。 2杯取は1杯取の設定と連動しています。コーヒーの味(濃さ)を揃えたい場合は1杯 取を豆マーク3個以下で設定して下さい。 ※挽豆中◀▶ボタンを操作すればコーヒー濃度変更可能。 現在抽出中の1杯のみ有効、元々の設定量は変更されません。 | | |
| | ト 温度 : | 低(熱湯のみ)/中/高 | コーヒー温度目安 84℃~89℃ 熱湯温度目安70℃~85℃ ※抽出口での温度 | | | | |
| | (4/4) | ト 言語の選択 | 独/英/仏/伊/蘭/西/ポルトガル/ロシア/スウェーデン/ポーランド/エストニア/日本語から選択 | 出荷時日本語設定 | | ト保存 ↑ | |
| | | ト オフタイマー | | 最後の抽出から15分~9時間後 | 15分後/30分後/1時間後~(その後は1時間きざみ) オフタイマー非設定不可 | | |
| | | ト 単位表記 | 液量単位 | mlまたはozから選択 | | | |
| ト 水の硬度 (INACTIVE 不可) | | ト 1dH~7dH | 出荷時設定 | | | | |
| | | ト 8dH~15dH ト 16dH~23dH ト 24dH~30dH | | マシンの耐久性を維持するための大事な設定です。 付属の硬度試験紙で実際に使用される水の硬度を調べて設定ください。 | | | |